

“第17回 狭山市民芸術祭 実行委員会始動”

狭山市民文化団体連合会は、平成11年9月に産声をあげて、今年で満17年になりました。来年2月に、17回目となる狭山市民芸術祭を市民会館との共催で開催します。

「明日(あした)へ」という全体テーマのもとに大きく展開します！

- ◆会員団体による各種力作をご鑑賞下さい
日本画・洋画・版画・書・彫塑・写真・手工芸品・いけ花 等
●2月21日(火)～26日(日) 展示室・他
- ◆茶席にて皆さまに心を込めてなごみの一服を (茶席券 350円)
●2月25日(土)・26日(日) 1階ロビー
- ◆舞台発表「世代を超えて」では各団体が力の入った舞台を披露します
(入場無料) ●2月25日(土) 小ホール
- ◆舞台公演「音楽と舞踊でつづる四季の移ろい」を各団体のコラボレーションで繰り広げます
チケット 全席指定 前売り 500円(当日 700円) ●2月26日(日) 大ホール
- ◆模擬店で皆さまをお待ちいたしております
気仙沼物産・手作り小物・狭山のグルメ屋台 (名物だんご・さといもコロッケ・他)
●2月25日(土)・26日(日) 大ホールロビー
- ◆企画展示でお楽しみください
 - 公募文芸作品展示：「いのち・愛・希望・ふるさと」をテーマに、詩・俳句・随筆など募集しています。
 - 市民参加型オブジェ：「私・家族・狭山の未来」会場で沢山書いて飾ろう！
 - 「児童文学作家 さねとう あきら の世界」：故さねとう あきら氏の資料展示と作品の朗読●2月25日(土)・26日(日) 大ホールロビー

などなど、より多くの市民のみなさまに有意義かつ楽しい芸術祭を提供出来るように会員一同、心を一つに取り組んでおります。

★小ホールまたは大ホール公演への来場者には、模擬店で使用できる金券が抽選で当たります。

第17回狭山市民芸術祭実行委員会

お問い合わせ：文団連 090-6714-6048

“暑さに負けず熱演”

民謡のつどい 開かる

猛暑が続いた8月、雨模様で、ちょっと涼しくなった28日(日)、狭山市民謡協会の「民謡のつどい」が、狭山市民会館小ホールで開催された。

8会派の100余名、年1回の舞台上で、熱演が見られた。民謡界は特に高齢化が進み、80才になっての出演者に贈る「奨励章」に8名、今回から新企画の毎回出演し88才(米寿)になる会員に、「矍鑠章」として89才の千寿会 荻村正枝さんに賞状と、金メダルが中村会長より掛けられた。

中村会長より「埼玉県には数多くの民謡がある。埼玉の唄がもっと唄われると良いのでは」、文団連の横山会長からは、日頃の協力のお礼と「私もチャキチャキ元気塾に行くが、『手拍手』が健康に良いと聞き、民謡は適しているのでは」と話された。

個人の唄だけでなく、合唱や津軽三味線、手をつなぐ親の会の太鼓演奏、会主の唄声で終演。なお合間に、稲荷山さくら音頭、狭山ふるさと音頭を流し、文団連をアピールしました。

(狭山市民謡協会 高沢正夫)



木曾節を唄う 荻村正枝さん